

岐阜大学客員教授 早川三根夫氏

特別講義『「学校経営専門職」としての学び』を開催しました。

令和6年11月12日（火）に、岐阜大学教職大学院学校管理職養成コースにおいて、客員教授の早川三根夫氏の特別講義を開催しました。

学校管理職養成コースでは、岐阜県教育委員会から派遣される現職教員学生を対象に、学校経営専門職のための大学院教育を行っています。そのためのカリキュラムとして、大学院での学校経営学等の講義と教育行政機関や学校における学校管理職臨床実習があります。

今回は、学校管理職臨床実習の1コマとして、特別講義を行いました。早川先生は、岐阜大学教職大学院と岐阜県教育委員会が連携したスクールリーダー養成の仕組みを作ってくださいました方で、前岐阜市教育長であり、中教審の専門委員としてもご活躍され、現在は文部科学省の委員をなさっています。毎年、高度な見識をもとに、現職派遣学生に講義をしていただいておりますが、今回は、教育行政者の視点から、学校経営専門職に必要な力量を解説してくださいました。

とくに、①大学院設立の経緯と意義、②あなた自身の心理的安全性、③安心できない学校、④安心できる学校、などの話題を取り上げ、院生と対話しながら、学校管理職がどのように思考し、行動すればよいかを語っていただきました。

岐阜県の未来を担う派遣教員学生は、心理的安全性や管理職としての責任・覚悟をはじめとした多くの言葉が深く心に残ったと感想を述べており、講義に込められた前向きな姿勢、子どもや教師への思いを受け止め、学びを深めました。

